

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

※新型コロナウイルス感染症に係わる外部評価の対応についての通知に準ずる

事業所番号	1473400370
法人名	有限会社 優心会
事業所名	グループホーム サロン・ド・せや
訪問調査日	令和3年5月20日
評価確定日	令和3年6月11日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は20項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法

[取り組みの事実]
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[次ステップに向けて期待したい内容]
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家 族 = 家族に限定しています。
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

令和 2 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473400370	事業の開始年月日	平成16年4月1日	
		指定年月日	平成16年4月1日	
法人名	有限会社 優心会			
事業所名	グループホーム サロン・ド・せや			
所在地	(246-0004)			
	神奈川県横浜市瀬谷区屋敷1-37-8			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	令和3年3月12日	評価結果 市町村受理日	令和3年12月7日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

新型コロナウイルス感染症発生にて、感染防止の為外出が出来ませんでしたが、各フロアで季節に応じたイベントを行いました。屋外には出れないかもしれませんが、花見ドライブも行いたいです。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒231-0023 横浜市中区山下町74-1 大和地所ビル9F		
訪問調査日	令和3年5月20日	評価機関 評価決定日	令和3年6月11日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は、有限会社優心会の経営です。同法人は横浜市瀬谷区に本社を構え、グループホーム2ヶ所、小規模多機能型居宅介護事業所1ヶ所、介護タクシー等の高齢者福祉事業を瀬谷区と緑区で展開しています。ここ「サロン・ド・せや」は相鉄線「瀬谷駅」から4つ目のバス停「中屋敷」下車して、徒歩10分程度の境川の近くにあります。事業所は畑と森に囲まれた長閑な環境下にあり、「サロン・ド・せや」のコンセプトでもある、田と畑と木々が繁る豊かな田園の中で、高齢者が自分のリズムでその人らしく生活を営めるよう、利用者の残存能力を維持しながらサポートするケアに注力しています。

●事業所では、「利用者のその人らしいあり方、尊厳を支え、出来ること、やりたいことを叶えるお手伝いをする」ケア方針に沿い、利用者一人ひとりの残存能力を共有し、残存能力を発揮できる場面を作り、グループホーム入居後も自立した生活が送れるよう、残存能力を活かした支援を心がけています。また、職員の質向上を目指し、横浜市等の外部研修への参加、外部研修資料を基にした内部伝達研修を行い、情報の共有化を図っています。今年度は外部の研修が少なく、参加が難しい状況にあるため、施設内の勉強会の機会を多く設けるようにし、特に「身体拘束、虐待」について重点的に取り上げていきたいと考えています。

●新型コロナウイルスの影響により、地域行事への参加、語り部、紙芝居、ちぎり絵、絵手紙、フラダンスなどの様々なボランティアの方の来訪、ケアプラザと協催の「認知症カフェ」も中止となったことから、利用者の気分転換や下肢筋力低下の防止に注力し、四季を感じられる装飾、アクティビティなどを取り入れています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム サロン・ド・せや
ユニット名	千寿

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関、フロアに提示し周知している。新入職員には入職時に説明し、理念に基づいた支援をしています。	開設時に作成された理念を、より具現化しやすいよう職員間で話し合い、3項目にまとめたものを玄関、フロアに掲示しています。さらに、理念が記載されたカードを携帯し、理念の共有を図っています。事業所では、笑顔のあふれる環境をつくり、「その人らしく」暮らせる場所となるよう目指しています。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており、今年は新型コロナウイルス感染防止の為イベントは中止になっています。ホームでの行事等は運営推進会議（文章での開催）でお知らせしています。	中屋敷町内会に加入しており、町内会長から定期的に情報をいただき、様々な地域行事に利用者に参加し、交流を図っています。平常の年には町内の行事参加をはじめ、語り部、紙芝居、ちぎり絵、絵手紙、フラダンスなどの様々なボランティアの方の来訪やケアプラザと協催の「認知症カフェ」も開催していましたが、現在は、新型コロナウイルスの影響で中止しています。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	新型コロナウイルス感染防止の為認知症カフェは脱退しました。施設見学者の方や入居希望の方等の相談にも応じています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルス感染防止の為、運営推進会議は文章報告を行っています。電話や文章でコメント頂いています。	運営推進会議は、町内会長、看護師、中屋敷地域ケアプラザ、各ユニットから1家族ずつの参加を得て、年6回開催しています。事業所の現状や活動報告を中心に、地域の情報や質疑応答の時間を設け、意見交換を行い、サービスの向上につなげています。今年度は新型コロナの為、運営推進会議は文章報告を行ない、電話や文章でコメントをいただいています。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	瀬谷区主催の研修に参加して、情報交換も行っているが、新型コロナウイルス感染防止の為、オンラインでの開催がメインになっている為、以前と比べて参加できていません。	横浜市や瀬谷区主催の講習や研修会の案内が届いた際には積極的に参加している他、法改正や疑問が生じた際には相談にのっていただき、事業所の実情を把握していただくなど、協力関係の構築に努めています。現在は新型コロナウイルスの為、オンラインでの開催が中心となり、以前ほど参加できていません。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の勉強会やアンケートを行っています。ミーティング等で意見を出し合い、スタッフ間でも話し合いを行い向上に努めています。夜間のみ物騒な為、無断離設予防の為施錠しています。	身体拘束について勉強会やアンケートの実施、ミーティングでも意見交換を行い、共通認識を図りながら身体拘束を行わないケアに努めています。また、身体拘束の三つの原則（切迫性、非代替性、一時性）についても周知徹底しています。身体拘束・虐待防止委員会も2ヶ月に1回開催し、事例を持ち寄りながら身体拘束と虐待について学んでいます。	今後の継続	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の勉強会やアンケート実施しています。新型コロナウイルス感染防止の為外部での研修が行えていません。日々の声掛け等で意識向上を促しています。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修に参加出来ておらず、インターネット等で資料を探して施設内で勉強が行えるようにしています。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所契約時、契約書必要事項の説明を行い、質疑応答をおこなっています。解約時や改定時にも説明を行っています。			
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見ノートを設置や、面会時に意見を頂いたり、要望があった際には出来るだけ添えるように心掛けています。	運営規定に明記している苦情相談窓口について契約時に説明しています。家族からの意見や要望は、来訪時や電話連絡時に近況報告と併せて、何うようにしています。来訪時には、経過記録を見ていただくようにもして、ケアの共有と状態を把握していただくようにしています。家族会、運営推進会議も家族から意見や要望を伺う場としていましたが、現在は中止しています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	介護については職員の意見や提案を反映させているが、話し合いの場を多くし意見・提案を聞くように努めています。	職員の出勤時、休憩や業務中にもコミュニケーションを取るなど、気兼ねなく意見や提案を表出できる雰囲気作りを心がけています。朝礼時にも意見や提案を聞くなど、話し合いの場を多く設けるようにしています。職員からの意見や提案は会議で意見交換を行った後に、業務やケアに反映させています。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は管理者や、職員個々に話す機会を設けて、現場を見たり職場環境・条件の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は職員一人一人の介護力量を把握して、声掛けを行っています。外部研修は参加参加出来ておらず、施設内で意見交換を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	現在は交流研修は行っておらず、状況が落ち着いたら参加出来るように調整しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面接・入居前訪問を行い情報収集を行っていますが、キーパーソンにも現在に至るまでの経過を伺ったりしていますが、わからない事も多く情報が少ない事もあります。困っている事や、不安な事要望等も聞き関係作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面談・入居前訪問を行い情報収集をすると共に、家族が困っている事、不安な事、要望等を聞き関係作りに努めています。現在は新型コロナウイルス感染防止の為電話等で報告を行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面談・入居前訪問の際の情報を基に、何を必要としているのか早い時期に見つけて、快適な生活が出来るように手助けを行っています。集団生活に慣れるまで時間がかかることをご家族に説明し電話等で報告しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一つの家であり、家族のような気持ち接することで支え合って生活している。新型コロナウイルス感染防止の為家族と会えない事もあり、家族以上になっているような事が多い		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が来訪された際には日常の生活や支援について報告行っているが、電話等でも様子を伝える様に行っています。家族からの声をホームと共有し相互関係を支援しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の要望により、ホームで出来る範囲の対応はしているが知人・友人の来訪は新型コロナウイルス感染防止の為、現在はご遠慮させていただいています。	家族、友人や知人の面会は随時受け入れ、これまで築き上げてきた馴染みの関係が途切れないよう支援しています。現在は感染防止のため、家族要望に応じて、可能な限り対応していますが、外部の方は遠慮させていただいています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	定期的にご利用様のリフレッシュを考え、席替えをしたり、レクリエーションで他者との交流する時間を設けてます。他者への配慮欠ける態度もありますが、見守りするように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も相談等あれば、今まで通り相談を受けるようにしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケース会議や日々の申し送り時に、個々が今何に困っているのか意見交換をして検討しています。ご家族にも希望を聞き、プランに反映しています。	入居時の「センター方式」によるアセスメントを基に、家族や本人から日々の生活から意向や希望の把握に努めています。ケース会議や日々の申し送り時に、利用者一人ひとりが今現在、何に困っているのか意見交換しながら本人本位に検討しています。寡黙な方でも散歩や入浴時のゆったりとした時間の中で、ふと漏らした言葉などは記録に残し、情報を共有しながら、可能な範囲で叶えられるようにしています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族から生活歴、馴染みの場所など聞き暮らしの中に取り入れています。新たな情報は随時追加し共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアプラン・ケース会議・日々の申し送りで細かい事も見逃さないように努めています。体調管理・心のケアが出来るように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	センター方式を中心に話し合い、抜粋して使用し、モニタリングで現状に合わせた計画を作成しています。	開所時から「センター方式」を中心に話し合い、有効な書式を抜粋して使用し、居室担当からのモニタリングで現状に合わせた形での介護計画を作成しています。毎月のケア会議はフロアごとに行い、経過記録を家族に見ていただき、家族の要望も加味しながら介護計画を作成しています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の経過記録や業務日誌を活用し、申し送りに情報を共有しています。体調や心身の変化も把握し必要時には介護計画を見直しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人一人の状況に合ったケアを実践しています。急な受診や家族が対応出来ない時は、家族と連絡を取り合い状況に応じた対応を行っています。本人や、家族の希望に出来るだけ支援できるように取り組んでいます。（行政・医療）		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期的に地域の方々のボランティアの来訪を受け入れていましたが、現在新型コロナウイルス感染防止の為受け入れは行っていません。状況に応じ交流を深めていきたいと思っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科2回/月・歯科2回/月・精神科2回/月廻診を行っています。ご家族や本人の希望があれば馴染みの病院に行ったりもしています。緊急時でもご家族の要望を優先出来るように支援しています。内科・歯科⇔協力医療機関 精神内科⇔個人契約	入居時に、かかりつけ医の有無を確認し、事業所の協力医療機関について説明した後、主治医を決めています。家族や本人の希望で馴染みの病院に受診することもあります。協力医療機関からは月2回の訪問診療があり、歯科と精神科も月2回の廻診があります。精神科は必要な方のみ個別に契約を交わしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が常勤であることから、適切な指示を受けることが出来ます。些細な変化でも見逃す事が少ないです。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そう	入居者が入院した日からユニット職員と共に、ご家族や病院関係者と情報交換を行い、早期退院が出来るように連携をとっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	南町田ペンギンでは、医師不足の為看取りの連携が出来ず、只今他の各医療機関を探している状況です。	入居時に「重度化や終末期における指針」に沿って説明し、口頭にて確認しています。状態の変化に応じて、医師、看護師、家族、職員で話し合いの場を設け、今後の方針を共有しています。事業所での終末期を迎えるに当たっては、終末期の指針を取り交わした後に医療連携を取り、ターミナルケアを行う体制を整えています。但し、現在の協力医療機関（南町田ペンギン診療所）とは看取りの連携が取れないため、他の医療機関を探しています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時に備え、地区担当の消防士さんをお願いし、応急救護指導を定期的を受けています。病気対応は看護師のアドバイス等を受けて、マニュアルも確認しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	初期消火・避難訓練の実施を、地区担当の消防士さんの指導の下で1回/年行っています。境川氾濫時の避難マニュアルもあり、避難場所までの訓練も行っています。一時避難所として特養と協力しています。	初期消火訓練と併せて避難訓練を年1回以上行っています。その際、消防署にも立ち合いを依頼しています。今年度はコロナウイルスの影響により、事業所独自で実施しました。また、境川が近いことから、氾濫時を想定した避難マニュアル作成しており、避難場所までの訓練も行っています。一時避難所として地域の特養と協力しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は日常生活を送る上で、常に本人の自尊心を傷つけないように配慮しています。情報等は、経過記録や申し送り、業務日誌を活用して伝達し、個人情報管理も徹底しています。場合により、入居者様のイニシャルで報告しています。	職員は、日常生活を送る上で、本人の自尊心を傷つけることなく、生活歴を把握した本人主体のケアを心がけています。本人の情報などは、経過記録や申し送り日誌を活用して職員で共有しています。呼称については、名字を基本としていますが、家族からの希望で名前でお呼びする場合があります。プライバシー保護の観点から、利用者のイニシャルでの報告も取り入れています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	新型コロナウイルス感染防止の為外出が出来ない為、ご本人の意見を尊重しながら、ホーム内で出来ることを行っています。(折り紙・塗り絵・歌等)レクへの不参加に対しては、希望通りにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	以前は買い物、外食会等外に出る機会をつくっていましたが、新型コロナウイルス感染防止の為に自粛しています。ホーム内での行事や、イベント食事で楽しんでもらっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容を行っていましたが、新型コロナウイルス感染防止の為に中止しています。ご家族に確認後、スタッフで理美容が得意な方が、カットを行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳・下膳・食器洗いをしていただいています。季節に合ったメニューを心掛けており、イベントメニューにも力を入れています。健康も考え、減塩を心掛けるようにしています。	食事については、一週間分のメニューを各フロア毎に作り、月、水、金曜日に食材の買い出しに行き、手作りで食事の提供をしています。残存能力を活かしたケアの基本に沿って、食器洗い、下膳、食器拭きなど、その方の能力に応じて手伝っていただいています。季節に合ったメニューを心がけ、イベントメニューにも力を入れています。3ヶ月に1回、昼食時にはご飯、うどん、パンなどのメニューから選んでいただく「喫茶店」を開催するなど楽しんでいただけるよう工夫しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の食事・水分・排泄状況をチェックし、栄養バランスを考えた献立を立てています。状態が変化したら、その都度状態に合わせた食事を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後・就寝前にはうがい、歯磨き、舌ブラシ使用の声掛けや介助を行っています。歯科医の回診で歯磨きの指導も受けています。口腔定期検診を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	記録から排泄パターンを把握し、時間を見計らって、声掛けをまめに行い、失禁の回数を減らすように努めています。	排泄チェック表にて、1人ひとりの排泄パターンの把握に努めています。自立している方には見守り、声かけが必要な方には、周囲に配慮しながら声かけ、定時誘導を行いトイレでの自立排泄を促し、失禁の回数を減らすように努めています。便秘対策として、1日1600ccを目標に摂取していただくようにしています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳・エンシュア等個々に応じた対応を行い、排便がスムーズに行えるように取り組んでいます。2回/1日体操を行い、適度な運動をしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の体調を確認し、順番も工夫して入浴していただいています。	週3回、火、木、土曜日を入浴日として、入浴支援を行っています。時間も10時～17時の間と決まっていますが、安全かつ安心して入浴していただけるよう、入浴前にはバイタルチェックを行い、本人の希望を確認した後に入浴を促しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	食後・入浴後・外出後・病院受診後には個別に休息をとっていただいています。その日の体調に合わせて、無理をしないよう休んで頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理については看護師の指示により、用法・用量を把握し、症状の変化は些細な事でも連絡しています。症状に変化があれば、精神内科にはFAX・内科にはラインで指示やアドバイスを受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の中でお手伝いして頂ける事（新聞たみ・もやしのひげ取り）、又それをご自分の役割と考え、喜びに感じていただくように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルス感染防止の為、外出等は自粛しています。ご家族との面会は窓越しに行っています。	新型コロナウイルス感染防止の為、外出等は自粛しています。事業所の周辺には田園風景が広がっており、天気や気候の良い日には、川沿いの散歩コースに出かけたり、事業所の敷地内で外気浴を行うなど、季節感を感じていただけるよう支援しています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	紛失予防の為、ホームで金銭管理をさせていただいています。外出自粛の為お買い物にも活けていません。状況に応じてお買い物も進めて行きたいとおもいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	居室専用電話・携帯電話持ち込み可能となっておりますが、現在はどなたも使用していません。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真・カレンダー等を貼ったり、季節感溢れる装飾や花等を活かしています。温度や照明は適宜調節しており、毎日室内掃除を行っています。	玄関には、季節や行事の花を飾り、時には職員が持参した花を飾って季節を感じていただけるように心がけています。壁にはイベントの写真、利用者の絵手紙や習字の作品を飾り、月毎に替えて変化のある居心地良い空間作りをしています。リビングでは、歌やゲーム、体操などのアクティビティを取り入れ、生活にメリハリをつけるようにしています。温度や照明は適宜調節しており、毎日室内掃除を行っています。		今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	中庭に長椅子があり、天気の良い日は日光浴をしたり、談笑したりする場所があります。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に今まで使用していた家具やテレビ・生活用品をご家族と相談して、持って来ていただいています。配置等は工夫して環境作りをしています。	入居時に今まで使用していた家具・テレビ・生活用品を家族と相談して持って来ていただき、動線を配慮しながら、個々の生活に合わせた安心出来る空間作りをしていただいています。本人が希望する模様替えや、重度化した祭の家具配置換えなど、ニーズに合わせた支援に努めています。		今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	室内はバリアフリーになっており、車椅子も使用出来るようにしています。居室入り口には表札、食事時のおぼん、洗濯カゴにも記名しています。			

事業所名	グループホーム サロン・ド・せや
ユニット名	万寿

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらい 3, 利用者の1/3くらい 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関・各フロアに提示して周知している。新入職員には入職時に説明しており、理念に基づいた支援をしています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており、今年は新型コロナウイルスにより、イベントなどが中止になっており参加が出来ていない。ホーム行事等は運営推進会議書面でお知らせしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症カフェ開催していたが、新型コロナウイルスにより中止となり、脱退しました。施設見学者様や入居希望の方等の相談にも応じています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルス感染防止の為、運営推進会議は書面での開催を行っており、電話や文章（手紙）でのコメントを頂いています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	瀬谷区主催の研修に参加して、情報交換行っているが、新型コロナウイルス感染防止の為オンラインでの開催が主になっており、以前と比べ参加出来ていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の勉強会や、アンケートを行っています。夜間のみ玄関の施錠行っている。(物騒なため)		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の勉強会やアンケート実施しています。外部での研修が出来ていない為、新聞記事等を回覧し、日々の声掛け等で意識向上を促しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修に参加できておらず、インターネット等で資料を探して、施設内で勉強会を行えるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所契約時、契約書・必要事項の説明を行い、質疑応答を行っています。解約時や改定時にも説明を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見ノートの設定や、面会時に意見を頂いたり、要望があった際には、出来るだけ添えるように心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	介護については、職員の意見や提案を反映させているが、話し合いの場を多くして意見・提案を聞くようにつとめています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は管理者や、職員個々と話す機会を設けて、現場を見たりして職場環境・条件の整備につとめるように努力します。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は職員一人一人の介護力量を把握して、声かけを行っています。外部研修は行っていない為、施設内で意見交換できるように環境を整えていきます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	現在は交流研修会は行っておらず、状況が落ち着いたら参加出来るように調整しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面接・入居前訪問を行い情報収集すると共に、困っている事・不安な事・要望等を聞き、関係作りにつとめています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面談・入居前訪問を行い、情報収集をすると共に家族が困っている事・不安に思っている事・要望等を聞き、関係作りにつとめています。入居後は来訪時に個々の状態を報告し、情報共有するようにしています。新型コロナウイルス感染防止の為、短時間の面談等工夫しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面談・入居前訪問の際の情報を基に、何を必要としているのかを早い時期に見つけて、快適な生活の手助けをしています。集団生活に慣れるまで時間がかかることを、ご家族に説明しています。新型コロナウイルス感染防止の為頻繁な来訪は行っていません。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一つの家であり、家族のような気持ちで接することで支え合って生活しています。暮らしを共にする同士の関係を築くことによって、相手の気持ちを察するように心掛けています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族さまが来訪された際は、ご本人の日常の暮らしや支援について報告を行い、電話連絡でも行っており、家族からの声をホームと共有しながら相互関係を支援しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の要望により、ホームで出来る範囲の対応をしています。知人や友人の来訪も新型コロナウイルス感染防止の為現在のご遠慮させて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様のリフレッシュを考え、席替えをしたりレクリエーション等で、他者との交流時間を設けています。時折配慮に欠ける態度を取られたりもありますが、スタッフが間に入りお話ししたりして見守りをおこなっています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も相談があれば今までと同様に、支援や相談を受けれるようにしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	モニタリング・ケース会議・日々の申し送り時に、今困っている事等意見交換を行い検討しています。ご家族からも希望を聞き、ケアプランに反映しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様から生活歴・馴染みの地・友人を知り、暮らしの中に取り入れています。新しく得た情報は追加して共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	せあプラン・ケース会議・日々の申し送りで、細かい事でも見逃さないように努め、事態を共有し体調管理・精神的ケアが出来るようにつとめています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	センター方式を中心に話し合い、抜粋して使用しています。モニタリングで状況に応じた計画を作成し、ケアプランに沿ったサービスを行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の経過記録や業務日誌を活用し、申し送り時に職員間で情報共有しています。体調変化・心身の変化を把握し、介護計画の見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人一人の状況に合わせたケアを実践しており、急な病院受診、家族対応が出来ない時等状況に応じた対応を、家族と連絡取り合うようにしています。本人の希望、ご家族の要望に出来るよう多機能に取り組んでいます。行政・医療・行事レク		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期的に地域の方々のボランティアを受け入れてましたが、新型コロナウイルス感染防止の為に現在は受け入れを行っていません。状況に応じて、交流を深めて行きたいと思います。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科2回/月・歯科2回/月・精神内科2回/月廻診を実施しています。ご家族や本人の要望で馴染みの病院へ行っている方もいます。緊急時でもご家族の要望を優先出来るように支援しています。①内科・歯科⇔協力医療機関②精神内科⇔個人契約		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が常勤であることから、常に適切な指示を受けられるので、小さな変化でも見逃しが少ないです。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者が入院した日からユニット職員と共に、ご家族や病院関係者との情報交換を行い共有しています。早期退院が出来るように連携をとっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	安心して最期を迎えることが出来るように、職員の了解を得て医療連携・ターミナル体制を整えていきます。現在南町田ペンギンでは医師不足にて看取りの連携が出来ず、各医療機関を探している状態です。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時に備え、地区担当の消防士さんをお願いして応急救護指導を定期的に行っています。また看護師のアドバイスやマニュアルを確認しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	初期消火・避難訓練の実施を地区担当の消防士さんの指導の下で1回/年行っています。境川氾濫時の避難訓練マニュアルもあり、避難場所迄の訓練も行っています。一時避難所として、特養と協力しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は日常生活を送る上で、常に本人の自尊心を傷付けないように配慮して対応しています。経過記録や申し送り、業務日誌を活用して伝達情報管理を徹底しています。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の意見を尊重しながら、レクや歌等楽しむ時間をつくっています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	以前は買い物、外食会等外出していましたが、新型コロナウイルス感染防止の為自粛しています。個々にあったレクを行っています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容を行っていたが、新型コロナウイルス感染防止の為中止している。ご家族に確認して、スタッフがカットを行っている。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下膳・食器洗いをしてもらってます。季節に合ったメニューを心掛けており、イベントメニューにも力をいれています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の食事・水分・排泄状況をチェックし、栄養バランスを考えています。状態に合わせて形態など変更しています。水分は平均1600ml（状況に応じ増やしています）		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、就寝前にうがいや歯磨きの声掛け介助を行っています。歯科医の訪問で歯磨き指導があります。口腔定期検診も行っていきます。口腔衛生管理加算（歯科医の協力を得て）		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	記録から排泄パターンを職員が把握し、さりげない支援を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳・エンシュア等その人に応じた対応を行い、排便がスムーズに行えるよう取り組んでいます。また、朝・昼の2回体操を行い適度な運動をしています。（ラジオ体操・はまちゃん体操・荒川体操）		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の体調を確認し、順番を工夫して入浴していただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	食後・入浴後・外出後・病院受診後には個別に休息をとっていただいています。日々の活動で心地良いリズムのある生活を過ごしていただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理については、看護師の指示により用法・用量を把握し、症状の変化は些細な事でも看護師に連絡しています。症状に変化があれば、精神科医にはFAX・内科医にはラインにて指示やアドバイスを受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中でお手伝いして頂ける事は、些細な事でも参加していただいています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルス感染防止の為、外出等は自粛しています。ご家族との面会は窓越しで行っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	紛失を予防する為ホームで金銭管理をさせていただきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	居室専用電話・携帯電話の持ち込みは可能となっており、1名携帯電話使用しています。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真を貼ったり、季節に応じた壁飾りを貼ったりしています。			
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	庭に長椅子がありますが、歩行が不安定な方も多く、フロアのみで過ごしています。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に今まで使用していた家具・生活用品をご家族と相談し持って来てもらっています。配置等は工夫して環境作りをしています。			
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室入り口には表札、食事のおぼん、洗濯カゴにも記名してわかりやすくしています。外のみバリアフリーになっています。			

